

ミカド裁判完全勝訴!



連合長崎の仲間の皆さんにご支援いただいていた、ミカド裁判の判決が3月21日に言い渡され、原告側の主張が全面的に認められた「完全勝訴」でした。

これまでの皆さまのご支援に感謝し、心からお礼を申し上げます。

今後、ミカド観光センター労組は、裁判の判決に従って、早期復職できるよう取り組みを行ってまいりますので、連合長崎の皆さんの変わらないご支援をよろしくお願い申し上げます。

ミカド観光センター「3名の解雇無効を求める」裁判 闘争支援決議

本日、長崎地方裁判所島原支部は、ミカド観光センターを解雇された3名の解雇無効を求める裁判において、原告側請求を全面的に受け入れ「解雇無効」の判決を言い渡しました。この事件は、ミカド観光センターの労働者が会社の経営体質改善と職場環境改善を求め、労働組合を結成しストライキを行ったことに対する報復として、3名の組合員が解雇処分されたことを無効として、長崎地裁に提訴し本日判決に至りました。

この裁判で問われていたものは、労働組合の存在と労働者の権利として認められているストライキを認めない会社側の姿勢であり、判決は会社側の主張を認めず、労働者側の主張を全面的に認めるものでした。

この間、私たちは、解雇された組合員とミカド観光センター労組を支援するために2012年4月15日に現地闘争支援対策本部を結成し、街宣活動、街頭ビラ配布や支援集会など、様々な取り組みを行ってきました。その結果、島原地区に結集する労働組合の仲間はもちろんのこと、市民からも「頑張れ」という励ましの言葉があるなど、闘いを進める上で、大変心強い思いを持つ事が出来ました。

また、闘いの輪は島原地区のみならず、諫早地区、長崎県下へと拡がりを見せ、着実に支援の輪が広がっていきました。この輪の拡がりがある今回の判決に大きな影響を与えた事は言うまでもありません。

会社側は今回の判決を受け入れて、早急に3名の復職を実現し、そして、ミカド観光センターに働く労働者が明るく活き活きと、働ける職場に生まれ変わり、地域に親しまれる会社となるよう、労働組合と力を合わせて、企業再建に着手するべきです。

私たちは、3名の復職が実現し、ミカド観光センターが働きやすい、地域に親しまれる職場になるまで、引き続き連帯し闘い続ける事を明らかにいたします。

2013年3月21日

ミカド観光センター労組現地闘争支援対策本部

「アジア・アフリカに届け！わたしたちのお米・そして心！」支援米発送式

昨年、5地区で取り組んだ支援米活動は、2012年6月に田植え、10月に稲刈りを行いました。この各地区で収穫した支援米とあわせ、カンパにより購入したお米、計3,000kgのアジア・アフリカ支援米の発送を3月18日（月）に長崎県勤労福祉会館前で行いました。本来は同日12:30より長崎県庁前広場において発送式を予定しておりましたが、当日の悪天により発送式を中止し、連合長崎事務局と国公総連の組合員にて発送作業を行いました。

長崎から発送した支援米は、全国各地から送られた支援米とともにいったん横浜に集められ、その後各地に輸送されます。（長崎の支援米はカンボジアに輸送

されます）

この活動に参加された各地区の皆様、カンパに協力いただいた組合員の皆様ありがとうございました。また、本年についても更なる協力をお願いします。

【各地協の収穫高】 計1,140kg

諫早地協	300kg	島原地協	240kg
佐世保地協	300kg	北松ブロック	150kg
五島地協	150kg		

【カンパいただいた金額】

733,734円

米の追加購入（1,860kg）及び、長崎からカンボジアへの輸送費に充当。



今後予定されている選挙日程(3月31日現在)

連合長崎推薦候補者全員の当選を目指そう!

(1)市長・町長選挙

市名	任期満了	告示日	投票日
諫早市	4月9日	3月31日	4月7日
西海市	4月30日	4月14日	4月21日
佐々町	6月25日	6月11日	6月16日
平戸市	11月5日	未定	未定

(2)市議会・町議会議員選挙

市・町名	任期満了	告示日	投票日
諫早市	4月9日	3月31日	4月7日
新上五島町	4月23日	4月9日	4月14日
西海市	4月30日	4月14日	4月21日
対馬市	5月31日	5月12日	5月19日
佐々町	6月25日	6月11日	6月16日
壱岐市	8月6日	7月14日予定	7月21日予定
平戸市	11月5日	10月予定	10月予定
雲仙市	11月19日	未定	未定

※諫早市長選挙連合長崎推薦候補者

宮本 明雄(みやもと あきお) 64歳 (無所属・現諫早市長1期)

※諫早市議会議員選挙連合長崎推薦候補者

宮崎 博通(みやざき ひろみち) 65歳 (民主党・現諫早市議6期)

林田 保(はやしだ たもつ) 63歳 (民主党・現諫早市議2期)

松永 隆志(まつなが たかし) 55歳 (民主党・現諫早市議1期)

※西海市長選挙連合長崎推薦候補者

田中 隆一(たなか たかいち) 66歳 (無所属・現西海市長1期)

※西海市議会議員選挙連合長崎推薦候補者

中野 良雄(なかの よしお) 63歳 (民主党・現西海市議2期)

3・8国際女性デー長崎集会

連合長崎女性委員会は、2013年3月9日(土)、長崎県教育文化会館にて「3・8国際女性デー」長崎集会を開催しました。3・8国際女性デーの歴史は今から150年以上前にさかのぼります。1857年3月8日ニューヨークの被服工場働く女性たちが、低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが起源とされています。連合も1996年から春季生活闘争の統一行動と位置づけ全国の仲間と一緒に取り組んでいます。

冒頭に女性委員会白倉委員長、連合長崎宮崎事務局長の挨拶の後、来賓を代表し大久保ゆきしげ参議院議員に挨拶をいただきました。集会では、長崎人権擁護委員協議会 人権擁護委員の栗山洋子様を講師に招き、「セクシュアル・ハラスメント」について、「なぜセクハラが起こる(起こす)のか?」「セクハラに関する判例」「相談を受けた時の心構え」等について、具体的な事例を含め、わかりやすくご講演いただきました。

最後に参加者全員に3・8国際女性デーのシンボルであるパンとバラを配り集会を終了しました。



《参加者アンケートより》

- セクハラについては曖昧でよくわからなかったが、この集会で理解を深めることができた。
- とてもわかりやすく、もっと多くの人に聞いて欲しい講演だった。
- 相談者という立場で勉強することができ、大変参考になった。



北朝鮮の 核実験に抗議!

連合長崎・原水禁長崎・長崎核禁会議の3団体は、北朝鮮が2月12日に「高い水準の核実験を成功裏に行った」との報道に接し、朝鮮民主主義人民共和国の国防委員会第一委員長である金正恩氏に対し抗議文を送付しました。

昨年末の「人工衛星」と称する長距離弾道ミサイルの強行発射と合わせ、この一連の核実験は国際平和と安全に対する重大な挑戦であるという認識のもと、今回の核実験に対し抗議すると共に、核兵器保有につながる実験を今後一切行わないよう強く要請いたしました。

北方領土 返還要求 署名の報告



構成組織の皆さまにご協力いただきました標記署名については、9,318筆を北方領土返還要求長崎県民会議へ提出いたしました。全国各地の署名とあわせ、千島・歯舞諸島居住者連盟あてに送付し、国会へ陳情されることとなっております。ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

お詫び

「連合長崎速報No267」の地協・ブロック役員紹介で、「北松ブロック議長 吉元彰二(電力総連)」を「北松ブロック議長 吉元彰二(自治労)」と誤って掲載していました。

関係者の皆様にはご迷惑をおかけしたことをお詫びし訂正させていただきます。



吉元 彰二
(電力総連)

子ども虐待防止 オレンジリボン運動

公式ポスターコンテスト 2013

主旨

平成23年度、全国の児童相談所での虐待相談処理件数は、年間で5万9千件を超えてしまいました。

現在、1週間にひとりの子どもたちが虐待により尊い命を失っています。虐待のない社会を築くには、市民のネットワークが大きな力になります。そこで、多くの方々にこの問題に関心を持っていただくキッカケになればとの思いから、「オレンジリボン運動公式ポスターコンテスト」を開催しています。



募集要項

●贈賞関係

公式ポスターの部 最優秀作品賞1名 賞状 賞金10万円
優秀作品賞2名 賞状 賞金3万円
共催企業・団体の部 企業賞(各共催毎) 賞状 記念品
特別賞(予定) 東京都福祉保健局長賞 賞状 記念品
参加賞 1次審査通過者約200名に公式オレンジリボンストラップを贈呈します。

<共催> (予定)

公益財団法人SBI子ども希望財団、フィリップ モリス ジャパン株式会社、日本アムウェイ合同会社、日本労働組合総連合会、有限会社グローバルサービス、一般社団法人日本ベビーダンス協会、大和商事株式会社、株式会社コミットコーポレーション

●使用用途

最優秀作品については、児童虐待防止全国ネットワークが使用する2013年度啓発ポスター・チラシに使用いたします。また、特別賞として共催企業・団体より選ばれた作品は、その企業・団体が独自に使用いたします。

●審査委員

東京芸術大学 美術学部教授	河北 秀也
全国児童養護施設協議会 会長	加賀美 尤祥
読売新聞東京本社 社会保障部 部長	阿部 文彦
児童虐待防止全国ネットワーク 理事長	吉田 恒雄
児童虐待防止全国ネットワーク 理事	高祖 常子

※特別賞は各共催企業・団体様にて選定をいたします。

●応募資格

Adobe Illustrator または Photoshop が入稿形式になるため、前述データで制作が可能な方が対象となります。

●応募方法

コンテスト詳細・応募方法は
オレンジリボン運動ホームページへ
<http://www.orangeribbon.jp/> より
コンテストのバナーを 

●応募締切

2013年4月30日まで

●結果発表

・「オレンジリボン公式サイト」(7月中旬)
・共催企業ホームページ特設ページ(7月中旬)
※選ばれたご本人には郵送で通知をいたします。

●お問い合わせ先

NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク
公式ポスターコンテスト事務局
〒156-0043 東京都世田谷区松原1-38-19 東建ビル502
TEL/FAX: 03-6380-6380
E-Mail: info@orangeribbon.jp

昨年の受賞者のコメント



最優秀賞

大阪府羽曳野市
岩田 三郎さん

さみしさを抱えている少年をモチーフにすることは、勇気のいることでした。しかし、その現実をさげすんで通れない。何度も考えた上で、やわらかな色調とタッチの絵にたどりついたのですが、その意図を評価していただいて、たいへんうれしく思っております。少年の背中にレイアウトされた、3行が、私のこの作品への思いです。「この子にも、オレンジリボン運動のひかりが届きますように」
——ありがとうございました。



優秀賞

福岡県北九州市市
田端 亮一さん

この度は優秀賞という素晴らしい賞をいただきありがとうございます。自分はこのポスターコンテストを通してオレンジリボンの事を知りました。こどもの未来を守る素晴らしい活動だと感激し、このコンテストに応募させていただきました。こどもの虐待や無関心等がこれだけ叫ばれている中、こどもに目を向けようとする大人が未だに増え続けています。このポスターはひとりぼっちで苦しんでいるこどもが一人でも少なくなるようにと思いながら制作しました。この活動を通じて一人でも多くの大人の方々の関心を集められればと思います。



優秀賞

千葉県白井市
長澤 貴之さん

この度は優秀賞という素晴らしい賞に選んでいただきありがとうございます。現在私は学生ということもあり、普段子どもと関わる機会がありません。そのため今回のコンテストのことを知るまでは虐待については他人事のように考えていました。しかし、子どもを虐待してしまう親の心理や、虐待が無くなる理由を調べていくうちに、私たちのすぐ身近で起きている可能性がある問題だということがわかりました。是非たくさんの方に子育てに悩む親への理解を示し、これからの未来を担っていく子どもを一人でも救えるよう、オレンジリボン運動が広がっていくと私も嬉しいです。

連合・教育文化協会共催

第10回

私の提言

「働くことを軸とする安心社会」の
実現にむけて

募集

(旧称: 私の提言連合論文募集)



みんなで
応募
しよう!!

連合は、「山田精吾顕彰会(注1)の論文募集」事業を継承し、2004年から「私の提言 連合論文募集」をおこなってきました。8回目より、その名称を「私の提言—「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけて—」にあらため、連合が提起している「働くことを軸とする安心社会(注2)」の実現につながる提言を募集しています。

第10回目の募集となる今回も、「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけた提言を広く募集します。皆さんからの提言を活かしながら、労働運動をさらに前進させたいと考えています。

① 募集内容

- (1) 連合が提起している「働くことを軸とする安心社会」の実現につながる**具体的な提言**をお寄せください。
- (2) 作品はオリジナルで未発表のものに限ります。
(新聞、雑誌、書籍、報告書などに発表されたものは応募できません)
※過去の応募作品のテーマや入賞者については、教育文化協会のホームページの「文化事業—私の提言」の欄に掲載しております。

② 応募の対象と方法

- (1) **どなたでも応募**できます。

(組合員、組合役職員、組合OBに限らず、学生の方など、どなたからの応募も歓迎いたします)

- (2) 応募は電子媒体(E-Mailなど)を原則とします。



③ 表彰

- (1) 選考: 第10回「私の提言—「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけて—」運営委員会で審査します。
- (2) 表彰: 優秀賞 表彰盾と副賞 **20万円**【注:税込】
佳作賞 表彰盾と副賞 **10万円**【注:税込】
奨励賞 表彰盾と副賞 **3万円**【注:税込】
※連合第13回定期大会(2013年10月4日)で表彰予定
☆応募者には、もれなく記念品を進呈(除く、入賞者)

④ 書き方

- (1) 本文
 - ① **提言内容が分かる表題を必ずつけてください。(副題として表現することも可)**
 - ② 用紙はA4判とし、横書きで縦長に用いて下さい。
 - ③ 字の大きさは11ポイント。1行は全角40字1ページ35行として下さい。

- ④ 余白(マージン)は上下各25mm、左右各27mmとし、ページ番号を中央下に付して下さい。
- ⑤ 字数は、「6,000~8,000字程度」を目途に、「上限 10,000字」とします。(本文の最後に概ね何字かを記入して下さい。図表分も字数に換算、出典の注記は、字数から除いて下さい)

(2) 図表・参考文献

- ① 図表の下に出所を必ず明記して下さい。
- ② 他の文献から引用する場合は、引用箇所にかぎ括弧をつけ、通し番号を記し、最後に一括して出典を注記して下さい。

⑤ 執筆者略歴や連絡先など

- (1) 別紙に、下記の点を明記してください。
 - ① 氏名、現職(所属・役職名、学生の場合は学校名・学年など)、略歴【100字以内】
 - ② 住所、電話番号、Eメールなどの連絡先
 - ③ 「私の提言」募集を知った媒体(教育文化協会のホームページ、チラシなど)
- (2) 応募の際にいただいた個人情報、応募後の問合せや連絡など、作品募集以外での目的には一切使用いたしません。入賞作品は、「入賞提言集」および教育文化協会のホームページに掲載させていただきます。その場合、応募作品および氏名、現職、略歴のみを公表いたします。

⑥ 応募締切

2013年8月19日(月)必着

⑦ 受付・問い合わせ先

■ 社団法人 教育文化協会
 第10回「私の提言—「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけて—」募集係
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1階
 電話 03-5295-5421
 FAX 03-5295-5422
 URL <http://www.rengo-ilec.or.jp/>
 E-Mail info-ilec@ebu.jtuc-rengo.or.jp

(注1) 山田精吾顕彰会は、連合初代事務局長であり、労働界の統一、発展に生涯を捧げられた故・山田精吾氏の遺志を受け継ぐため、ご遺族から寄贈された資金を基に1997年に設立され、労働運動功労者の表彰や若手活動家の育成などに取り組んできました。故・山田氏は「理想は高く、目線は低く」の現場からの視点、友愛と連帯に裏打ちされた団結の大切さを持ち続け、労働者の組織化、労働条件の向上などに大きな足跡を残されました。
 (注2) 連合の提言「「働くことを軸とする安心社会」にむけて」は連合のホームページに掲載しています。(http://www.jtuc-rengo.or.jp/)